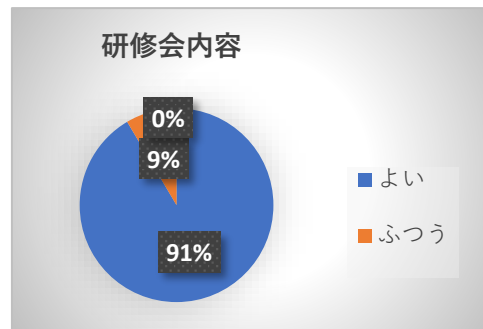


総会研修アンケート結果（R3.5.29）

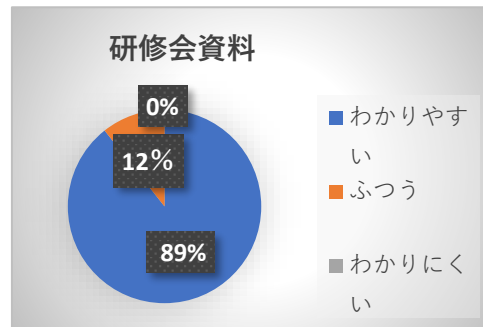
研修会内容

よい	43
ふつう	4
よくない	0



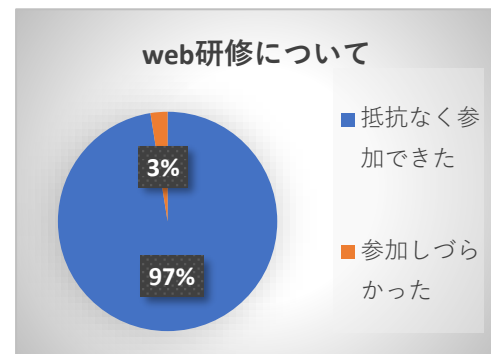
研修会資料

わかりやすい	42
ふつう	5
わかりにくい	0



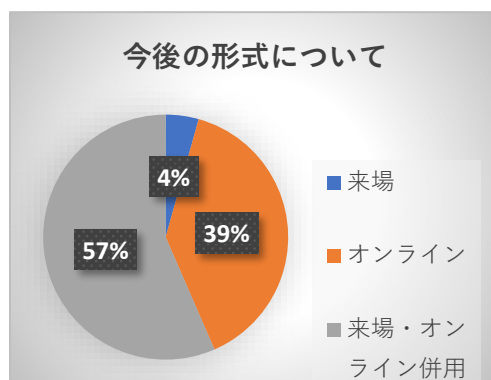
web研修について

抵抗なく参加できた	39
参加しづらかった	1



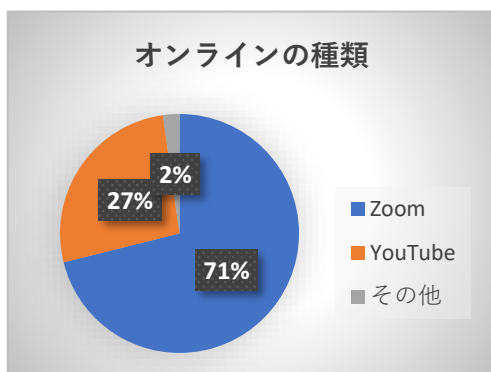
今後の形式について

来場	2
オンライン	18
来場・オンライン併用	26



オンラインの種類

Zoom	32
YouTube	12
その他	1



問4 研修の内容に関して、質問等

※赤字は小原先生から質問にお答えいただいた内容です。

丁寧に一つ一つお返事をいただきました！小原先生ありがとうございました！！

・災害時の利用者の避難優先順位を判断する時のポイント。何がどうであれば優先順位が高いと考えて良いか？

⇒利用者避難の優先順位は、ケースに応じてだと思います。

寝たきりの方で在宅酸素の方であっても、水害発生時に高台に家があり、浸水の可能性がなければ、ライフラインの断絶がない限りは避難の必要はないと思います。また電力等のライフラインが断絶しても、一定期間はその場で過ごすことができることを考えていきます。

ただ、地震で自宅が倒壊する恐れがあれば避難は必要です。

本人の状態や家族状況、立地や県築年数などの住環境、避難所までの距離、地域力などを考えて、優先順位は考えていきます。

・スマホで参加していたので、誰を優先に避難させるかという個人ワークで4人の概況の部分がスマホでは全く読みとれなかった。

⇒申し訳ありません。PP資料でまとめるとあの大きさになってしまいました。

・基本情報の様式に、災害時情報が追加されました。その事は良い事だったと考えます。今回の研修でも、風水害時の垂直避難の有効性も話されました。

⇒垂直避難はメディアでも取り上げられましたが、地域の浸水状況によっては有効なものであると考えています。夜間に浸水した道路を歩くことはかなり危険なことなので…

・ケアマネによっては指定された公民館等避難所を書く人もいる。運用にあたっては決定プロセスも統一する必要があると思う。関連して、地震の項目もあるが、原発災害の危険がある松江市で単に「地震」で良いのかと疑問。

⇒避難所は災害種別ごとに行政が設定しています。ハザードマップで確認できますが、地域の方の認識は、人が集まる場所と思っている人が多いのが現状です。

災害発生時の原発は、東日本大震災でもありましたが、想定しにくいものと思います。

・アセスメントシートの様式を参加者にメールして頂けるとありがたい。

⇒日本協会のホームページからダウンロードしていただけます。

・大変勉強になった。

⇒ありがとうございます。

・災害を想定しての日頃のトレーニング、具体化が大事だと思った。

⇒避難は災害によって異なりますが、支援は拠点が変わってもすべきことは共通していることが多いと思います。日頃から様々な場面を想定した机上訓練が必要だと思います。

・とても分かりやすかった。また第2弾があるとよい。事務所で取り組んでみてどうだっ

たか等、まずは職場でBCPの考え方を学びシート作りをしたいと思った。（何回もつきかさねていきたい）

⇒BCPは平時から発災後までの業務を導いてくれるものと思います。

「今、災害が起きたら何をすべきだろう」と言った考えが、BCPのスタートと思います。また一緒に勉強できる機会があるとうれしいです。

・何から考えればよいか分かった。

⇒ありがとうございます。

色々ところで研修をさせていただいていますが、災害の基礎知識もこれからのことだと思っています。

・実際の災害対応をされた状況を聞くことが出来て大変勉強になった。災害時リスクアセスメントについては、事業所でもすぐにとりかかれる内容であり、事業所内で周知し備えていきたいと思った。

⇒現在、自事業所には5名の介護支援専門員170件の利用者がいます。

災害が発生した時には、地震の身の安全が優先です。そのうえで、全介護支援専門員が出勤できるとは考えにくく、日頃からシートを活用した情報共有を行うことで、利用者の避難がスムーズに行えるものと思います。

・他人事ではなく考えさせられる内容でした。とても良かったです。

・災害時利用者一覧表の段で数値化することという内容について、数値化とは具体的にどのような物か教えて頂きたい。順位をつける事の他に何かあるでしょうか。

⇒一覧表の優先順位のところででしょうか？それとも順位付けのところででしょうか？

最初の質問と重複する部分ではありますが、利用者の状態や状況、住環境、避難所によって、発災時の高リスクな利用者を顕在化させていくことが目的で、優先度の高い人が必ずしも一番に避難していただくことではないと思います。

・災害支援ケアマネジャー養成講座を松江でやってほしい。

⇒一緒に学ぶ機会があればうれしいです。

・講師の語りがとてもわかりやすく開始と共にズーム研修と思えないほど呼びかけ（質問）の場面があり良かった。

⇒ありがとうございます。でも、WEB研修では話し方は難しいです…

日頃からの集合研修に近い形のカタチの方が研修は楽しいです。

岡山弁が要所に入っていました…

・これからの私達ケアマネの行動が災害時にどれだけ役立てるのかという課題だったが、

日々の訓練やシミュレーションが重要だと感じた。

⇒岡山県は災害が少ない県と思っていました。なので、備えができていたわけでもないなかで西日本豪雨が発生しました。

当時は目の前のことが一生懸命で、効率が悪いことばかりでした。結果的に支援ができただけだと思っています。

なので、制度的にも備えができる体制はありがたいことです。

・病院、医師も被災している場合は第2避難所を決める事が難しいかと思う。（例えば透析の方、持病のある方）→その場、具体的、透析の回数が必要ではないか、薬を持って置くのは2週間分とか具体策がほしかった。

⇒局所的な災害、広域的な災害によって避難所を決めることになると思います。

西日本豪雨では、薬は必要であっても、何も持たない状態で受診、処方されました。災害救助法の適用もあり、一部でケアマネの情報もあったのかもしれませんが、地域の医師会などの組織の連携で、被災者が守られたものと思います。

薬については、現実的に2週間分の余裕を保有しておくことは難しいと思いますが、マイタイムライン（個別避難計画）に「被災の3日前ぐらいに多めに薬をもらっておく」とありますが…

・素晴らしい実体験を基にした研修で、今後に役立つ。

・協会として災害時の役割についての流れを検討されているか？

問5 その他

・災害アセスメント、少しずつ整備していこうと思った。

・研修の資料やパスコード等の配信は、接続テスト終了後に配信します、と言うだけではなく、「〇月〇日までに届かない場合は、事務局にお問い合わせください」と言う配慮が必要なのでは？

・先ず何をしたらいいか、事業所で話し合いたいと思った。

・本当にこの1年で研修のあり方が大きく変わったが、対応して頂き有難い。

・画面上の資料はたくさん映像もありよかった。アセスメントシートなど字が小さいので、実物がつけてあるとより見やすい。

・最期の「それでは今、何をすべきか」というところが大切かと思った。BCPを作り始めかけているので、こういう研修を踏まえながら少しずつ完成に近づけると良い。

・完成してシミュレーションして又見直しが必要なんだろうと思った。

・Zoomトラブルもなく、よく見え、よく聞こえた。

・これからすべきことの参考になった。

・開会直前に司会者のバックのカーテンが動かされ、日差しが入り司会者、会長の顔が逆光になり顔が黒っぽくなっていた。

・机上訓練、災害時トリアージの研修を是非お願いしたい。

・行政からも高齢者の避難においてCMの協力が求められているところではあるが、どの

様に避難計画を考えるのか、又その計画の妥当性が判断できず、手を付ける事が出来ない状況。

・多職種や他事業所との担当者会議などの際に、少し話題を出すだけでも意識付けになるのかと、まずは少しで良いから考える事が大事になるのだとヒントを頂けた。

・島根県も災害が少ないので、ひとつごとのような気持ちもあったが、日頃から意識しておくことが必要だと思った。

・災害、トリアージ、BCPすべて勉強になった。

・災害に対して、平静時の準備が大切だと改めて感じた。他の各事業所のBCPがどう作成しているのか参考にさせてもらいたいと思った。

・声がなかなか聞き取りにくかった。（会場にて）

・島根も災害の少ない県で意識も乏しく、準備が出来ていない。どこかで災害が発生した際に緊急時の持ち出し、リュックの中身を確認するという状況なので全く大変。

・グループワークの避難の優先順位を決める等の机上訓練を実際に行って見たい。コロナで大変な時ですが、今後、機会をお願いしたい。

・とてもわかりやすい内容だった。

・災害時の優先順位、対応をどうしていくか改めて考える機会になった。又、災害の種類によっても違ってくるとも思え、どんな対応が必要か準備する必要性を感じた。

・必ず災害は起きると日頃からの備えの必要性をあらためて感じた。やはり自分の家は大丈夫とってしまっていた。地域のつながりの大切さを感じた。

・ケアマネジャーの役割、日頃の業務のあり方を学ぶことが出来た。災害発生時地位の力の必要性を感じた。地域包括ケアの構築のためにケアマネとして何をして行くべきかを課題として今後の業務に活かしていきたい。

・地域ケア会議の様に、災害支援の視点からケースを通じて災害時アセスメント、個別計画を作ってシミュレーションしてみるのも良いと思った。